

第47号

黒埼南ふれあい協議会ニュース

ふれあいかわら版

主要地方道新潟中央環状道路(黒埼工区)が
来年春につながります!!

新潟中央環状道路は、国際拠点港の新潟東港(北区島見町)から西蒲区角田浜まで全長約45kmが計画されている中で、令和3年2月に中之口工区(南区上塩俵～西区板井地内)が完成し、供用されました。

黒埼工区では、工事が難しいと言われていた北陸自動車の高架橋工事が令和2年度に無事に終わり、引き続き整備を進め令和5年春には国道116号までつながります。

この北陸自動車道を高架する橋の車窓からは、広大な越後平野と見渡す限りの水田地帯が広がり、「ふるさと新潟」のシンボリックな眺望を楽しむことができます。

新潟中央環状道路の中でもシンボリックな高架橋に愛着がわく名称をつけたいとの思いから整備に係る多くの関係者で協議し、名前の募集を行い、多くの応募の中から地元特産であり地理的表示GI保護制度にも登録されている枝豆を市内外にアピールできる点が評価され、「くろさき茶豆大橋」に決まりました。

この名称を応募したのは西蒲区在住の真鳥さん他2名の方でしたが、橋名板には、黒埼南小学校5年生の山際ゆきのさんが筆で力強く書き上げた書道作品が採用されました。

橋名板は現在工事中で見ることが出来ず、令和5年春の開通後も車の通行が多く危険で見るとは難しいため、以下の橋名板写真と書道作品を見て頂きたいと思います。

山際ゆきのさんの書道作品▶



山際ゆきのさんと橋名板▼



黒鳥バイパスの整備計画も進展中

茶豆ふれあいライン上にある県道新潟燕線に位置する黒鳥バイパスの整備計画も進展中で早期完成が待たれています。

令和3～4年度は用地買収が行われます。ここに至るまでの整備状況は右の通りです。

平成26年度：区長、市長への要望書提出・交通量調査
 平成27年度：道路予備設計・路線測量の実施
 平成28年度：地質調査・道路予備設計修正の実施
 平成29年度：予備設計内容説明・地質調査の実施
 平成30年度：予備設計・構造物設計の実施
 令和元年度：道路詳細設計
 令和2年度：用地測量の実施
 令和3年度：用地測量・北工区一部の用地買収
 令和4年度：北工区用地買収など

コロナ疲れから明るい未来へ

会長 大谷 一男

今、世の中はコロナの出口がみえない暗雲低迷の状況です。コロナの流行はすでに第6波に及びさらに次の波が心配されています。その波の中で全ての人々がこの疫病と戦っています。

過去に様々な疫病の伝播が、人類の歴史に深いつめ跡を残してきたことも事実です。そして治療法と予防法の確立で疫病は消滅してきましたが、今回のコロナはまだ先が見通せない状況です。

そこで、このような重苦しい状況から憂さ晴らしとでも申しましょうか、希望の持てる言葉を拾ってみました。

“君よ朝の来ない夜はない”

これは吉川英治先生のことばです。朝は前途光明、希望を表わし、夜は逆境、不遇、失意を表わす。人生はこの二つが混じり合って展開されて行く。自分のペースで努力しなければいけないということです。

“念ずれば花ひらく”

これは坂村真民という仏教歌人のことばです。人間は執念をもって事にあたれば、努力すれば必ず花がひらく、実を結ぶ。成果があるということです。

この二つの先人訓を日常生活の糧にして、そして、やって来るコロナ後の新しい時代の希望に満ち溢れた地域社会を、皆様と共に待ちたいものです。

各地区この一年

木場地区

コロナの影響で、伝統ある親善大運動会・芸能音楽祭・木場八幡宮奉納芸能の三大行事が今年度も中止となり、主要三大行事の再開が危ぶまれています。明るいニュースとしては、中ノ口川大橋の開通で白根方面への利便性が高まり喜びの声が寄せられています。公共交通の空白地域にとって自家用車が主体で朗報となっています。また、積年の課題でありました木場八幡宮境内に祭器庫を新築竣工するなど少しずつ前進しています。

連合自治会長 大谷 一男

板井地区

昨年は新潟中央環状道路の工事発注が相次ぎ、工事も急速に進みました。「くろさき茶豆大橋」が完成し、その手前の田心橋、西蒲区の境に架かる結び橋など多くの工事が今年も順調に進められています。そして、板井小学校跡地のグリーンガーデン団地は、昨年9世帯が入居し現在は19世帯となり、残る1軒の入居を待つばかりです。入居世帯の出身地は北海道・大阪・京都・長野に県内各地です。その中で板井関係者は4世帯です。若い世代が多く、コロナ終息後は交流の場を是非持ちたいと思っています。 総代 大矢 市策

北場地区

今年2月に就任しました、北場自治会長の佐々木一典です。黒崎南ふれあい協議会の皆様よろしくお願い申し上げます。

若者の人口が年々減少し超高齢化社会を向えている中で、当北場地区においても例外ではなく全46世帯のうち5世帯が高齢者の一人暮らしで生活しているのが現実です。また少子化も進み外に出て子供たちの遊ぶ声が聞こえず寂しい限りです。南小学校に通う子供たちも少ない事から早急な対策が必要と思います。コロナウイルスの感染の未だ終息が見えない中ですが、春の訪れと共に明るいニュースを待ち望んでいます。 自治会長 佐々木一典

黒鳥地区

昨年もコロナ禍で主要な行事が中止でした。親睦と融和を目的とした行事が多くある事から、一日も早くコロナが終息し、多くの方と行事を通し地域の絆を深めたいと思います。そんな中、長年の悲願であった「(仮)黒鳥バイパス」の整備も新潟市・地域の皆様方のご協力により令和3年度は北工区の一部で用地買収が終了、令和4年度は北工区の用地買収と本格的な工事に向けた仮設工事等の予算が計上されると思います。令和2年度に中央環状道路が国道8号から中ノ口川大橋を渡り板井地区まで開通し、黒鳥地区の交通量が今まで以上に増加している事から黒鳥バイパスが一日も早く完成する事を願っています。 総代 江端 年直

令和3年度 黒崎南ふれあい協議会 事業報告書

黒崎南ふれあい協議会令和3年度定例総会議案書配布

【事務局】 継続

日時 4月1日「総会議案書配布」

配布者 ふれあい協議会関係役員 130名

説明 新型コロナウイルス感染予防対策として今年度も当ふれあい協議会の定例総会議案書を書面表決書で確認する。



令和3年度 西区・黒崎南ふれ協区政懇談会

【事務局】 継続

日時 6月17日(木) 午後6時30分～

会場 黒崎南部公民館多目的ホール

参加者 ふれ協顧問・役員26名、西区8名

説明 過去の意見交換議題3項目の進捗状況と新規に木場の用水路転落防止柵改修と黒鳥地区の新潟燕線の整備促進についての意見交換会を実施する。定例総会議案書を書面表決書で確認する。



茶豆ふれあいライン緑化推進事業(春季)

【生活環境部会】 継続

日時 7月10日(土) 午前10時～12時

会場 茶豆ライン設置のプランター26個

参加者 木場・黒鳥地区の自治会役員等

講評 冬・春用のパンジーを撤去して夏・秋用苗(ニチニチソウ170本)を定植。今年は定植後の天候にも恵まれて花苗は順調に生育し綺麗に咲きました。



黒崎南夏休み縁日「コロナに負けず元気に夏休みを過ごそう、学校でかき氷だ」

【教育文化部会】 継続

日時 7月21日(水) 午前10時～

会場 黒崎南小学校体育館

参加者 黒崎南小学校児童・保護者・職員等

講評 コロナ禍での新しい生活様式が求められている中で元気を取り戻すため夏休み縁日を例年とは違うやり方で実施。



新型コロナウイルス
感染予防のため
中止となった行事

- ・黒崎地区健康づくり講座 【健康福祉部会】 継続
- ・第15回黒崎南輪投げ大会 【健康福祉部会】 継続
- ・第4回黒崎南フロアカーリング大会 【健康福祉部会】 継続
- ・生活環境施設見学会 【生活環境部会】 継続
- ・黒崎南お茶の間広場 【健康福祉部会】 継続

西区一斉クリーンデー「茶豆ライン清掃活動」

【生活環境部会】継続

日時 8月22日(日) 午前7時～
 会場 茶豆ふれあいライン沿線 / 参加者 28名
 講評 西区一斉クリーンデーと連携して当ふれ協も茶豆ふれあいライン沿線の区域を早朝に役員で清掃作業を実施する。放棄ゴミの量は年々減少しています。



茶豆ふれあいライン緑化推進事業(秋季)

【生活環境部会】継続

日時 11月14日(日)
 会場 茶豆ライン設置のプランター26個
 参加者 木場・黒鳥地区担当者
 対応 夏・秋用の花苗を撤去して冬・春用花苗(パンジー170ポット赤・白・黄紫等)を定植する。



令和3年度 西区・黒崎南ふれ協ミニ区政懇談会

【事務局】継続

日時 2月26日(土) 午後3時30分～
 会場 西区健康センター1階会議室
 参加者 ふれ協役員5名・西区長他5名
 講評 6月の意見交換議題3項目の進捗状況と新規に宮のもり・木場城公園内の施設改善計画や新湯燕線の整備促進、西区からは区ビジョンまちづくり計画についてなどの意見交換会を行いました。



黒崎南小学校卒業生記念品贈呈事業

【教育文化部会】継続

日時 3月3日(木) 午前8時30分～
 会場 黒崎南小学校
 対応 コロナ禍のため贈呈式は中止。



黒崎南まちづくりセンターギャラリー内の展示

【教育文化部会】継続

日時 3月7日(月)
 会場 黒崎南まちづくりセンターギャラリー
 実施日 1月11日 黒崎南小で書初め実施



『ふれあいかわら版』発行事業

【広報部会】継続 / 名称 ふれあいかわら版47号 / 発行日 3月下旬